

令和元年7月 加茂市長定例記者会見

R1. 7. 10 (水) 11:30

1 令和元年度事業の見直しと市長報酬の削減について

加茂市の財政状況は非常に厳しい状況です。そのため、この難局にスピード感を持って対処するため、令和元年度事業の中で可能なものから見直しを行いたいと思います。

その中で主なものをご説明します。

①市長報酬 15%、副市長 10%、教育長 5%の削減を行います。

本日、午後から「特別職報酬審議会」が開催されますので、そこで諮問し、ご審議いただくこととなります。

②市長交際費の削減を行います。

市長交際費の使途の見直しを行い、予算額 285 万円を 150 万円とし、135 万円削減します。

③小中学校体育館冷暖房施設整備を中止します。

これは、すでに市内全小中学校の普通教室と特別教室に冷暖房設備が整備済みであること、将来の返済や維持管理費を考慮しての判断です。

④敬老会事業を見直します。

毎年敬老の日に市民体育館を会場に、敬老会を開催していましたが、これを取りやめ、節目にあたる 88 歳と 100 歳の方に記念品を贈呈します。

⑤インフルエンザ予防接種事業についてです。

65歳以上のインフルエンザ予防接種は無料で実施していましたが、1,650円自己負担していただきます。予防接種には1人5,270円かかりますので、自己負担金1,650円を差し引いた3,620円を加茂市が負担します。

これは県内の加茂市以外の全市町村は同額の自己負担金をいただいております、他市町村と足並みを揃えるというものです。

また、13歳未満のインフルエンザ予防接種は1回目無料でしたが、1回1,500円を2回助成する方法に改める予定です。

今ほど説明した事業の変更は、あくまで現在の私の考えです。

全て今年の3月議会で議決をいただいた事業のため、見直しに関しては、7月23日に開催される加茂市議会臨時会にこれらの事業変更を提案し、議員の皆様にご判断を頂き決定します。

2 ロシア男女体操チームの事前合宿について

本日（7月10日）、ロシアの体操選手団が成田空港に到着し、バスでこちらに向かっている最中かと思えます。

おとし（2017年）、8月9日に加茂市に視察にいらっしゃったロシアの視察団一行は九州共立大学と順天堂大学も視察した中で、加茂市体操トレーニングセンターを合宿先を選びました。

昨年おいでになった際には、宿泊施設等をご覧になり、今年と来年の日程をほぼ固めていきました。

今年は、選手24名、関係者、通訳等総勢55名で、本日（10日）の夕方こちらに到着し、明日（11日）から7月30日までの約3週間滞在します。また明日（11日）10時から勤労者体育センターで歓迎セレモニーを行い、セレモニー終了後、体操トレーニングセンターで練習を開始します。

来年はオリンピックの期間に合わせて、約3週間の合宿を予定しています。

昨年の世界体操選手権大会個人総合の金メダリストと銅メダリストも含まれておりますし、男女ともすでに東京オリンピック団体の出場権を獲得しています。今回の合宿では練習の公開も予定していますので、多くの方から世界トップレベルの演技を肌で感じていただきたいと思います。

(練習公開日：7月11日(木)～17日(水)、但し、14日(日)は除く、時間は午前10時～午後1時30分)

3 姉妹都市コムソモリスク・ナ・アムーレ市子供代表団の来訪について

加茂市が友好交流を進める、極東ロシア、コムソモリスク・ナ・アムーレ市の子供代表団が、昨日、7月9日(火)から16日(火)まで、8日間の日程で、加茂市に滞在しておりますのでお知らせいたします。

代表団は、コムソモリスク市 第一副市長のエフゲニー・コルシコフ団長以下16名で、そのうち、生徒は13歳から15歳の12名です。

ちょうど本日、先ほど、代表団が市役所を表敬訪問してくださったほか、夕方には、歓迎パーティーを開催し、おもてなしいたします。

またこのほか、市内の小中学校3校(加茂小、加茂中、須田中学校)を訪問しての交流会や、施設見学、週末2泊3日のホームステイなども予定しています。

コムソモリスク市子供代表団の受入れは、加茂市の中学生代表団の派遣と毎年交互に行うもので、今年で16回目を数えます。

このたびは、同時期にロシア男女体操チームの合宿を開催しておりますので、子供代表団にとっては、母国の一流選手の練習をここ加茂市で間近に見ることができるまたとない機会となり、非常に楽しみにしておられるようです。

私たち加茂市民にとりましても、ロシアから二つの特別な代表団をお迎え

するこの夏は、加茂市とご縁の深いロシアを、より一層身近に感じ、また、国際理解、国際交流を考える機会となりましたら幸いです。

4 洪水ハザードマップの配布について

大雨等に伴う信濃川・加茂川・下条川・大正川の洪水時に市民の皆様から迅速な避難行動をとっていただくため、浸水想定区域や避難場所などを記載したハザードマップを作成し、7月1日に各戸に配布しました。

このマップは、1,000年に一度の想定される最大規模の降雨に基づき作成し、市内各河川、つまり信濃川、加茂川、下条川、大正川ですが、それが氾濫した場合のものを重ね合わせた図となっています。

ご自宅の浸水想定や避難場所などを今一度ご確認くださいとともに、災害時の連絡方法などを事前にご家族でご相談するなどして万が一の事態に備え、市から避難情報が発令された際は、迅速な避難行動を心がけたいと思っています。

5 加茂市指定文化財「旧生田屋」の一般公開について

旧生田屋につきましては平成28年度に取得後、平成29年3月2日に市の文化財に指定しました。その後、特に利用・活用についてお示しできておりませんでした。

先般の6月定例会において一般質問がありましたが、今後この施設について市民の皆さまからご意見をいただき、どのように利活用するのが良いのか検討していきたいと思っています。

つきましては、8月2日（金）～4日（日）の3日間、午前9時から午後5時まで一般公開し、皆さまからご覧いただくことにしました。

多くの方からご覧いただき、アンケートに記入する形で、ご意見をいただ

ければと思いますので、是非大勢の皆様からのご来場をお待ちしております。

6 市内中小企業・小規模企業の生産性向上への取組について

加茂市は、「生産性向上特別措置法」に基づく「導入促進基本計画」を策定し、令和元年7月5日付けで国の同意を得ました。

また、市議会6月定例会において、一定の要件を満たした中小企業等の設備投資に係る償却資産の固定資産税の課税標準に対する特例率を、3年間ゼロとする市税条例の一部改正が議決されました。

これにより、市内中小企業が、加茂市の「導入促進基本計画」に基づき、労働生産性の向上を見込む「先端設備等導入計画」を市に提出し、認定を受けた場合、新規に取得した設備の固定資産税が3年間ゼロとなる特例措置や国の補助金の優先採択、補助率の嵩上げなどの支援を受けることができます。

市内の多くの中小企業者がこの制度を利用し、新たな設備投資をしていただくことで、企業の労働生産性を向上させるとともに、加茂市の産業の活性化につながることを期待しております。